

令和 5 年度事業計画

1 献眼および角膜移植の普及啓発に関する事業

- (1)献眼や角膜移植に対する県民の理解が得られるよう、パンフレットやポスターなどを県、市町村、医療機関等に配布し、関心や知識を深めてもらうための事業を行う。
- (2)年一回の広報紙を毎年 11 月頃の予定で発行する。
- (3)10 月 10 日の「目の愛護デー」にちなみ、長崎県眼科医会と協力して、献眼登録者を対象とした眼科無料検診を行い、アイバンクに対する理解を深めてもらう。
- (4)近隣の総合病院に献眼協力病院を作り、アイバンクの普及啓発と献眼数の増加に努める。
- (5)長崎大学眼科のホームページの一部に長崎アイバンクのページを掲載し、献眼、登録についての啓発を行う。
- (6)献眼者に対し、感謝状を贈呈する。
- (7)ライオンズクラブ、県眼科医会等、県内の関係機関と協力し、事業の推進を図る。
- (8)アイバンクや献眼についての知識を深めるための教材として、令和 4 年 11 月 14 日に開催されたアイバンクサポーター講習会の講演映像で DVD を作成する。
- (9)令和 5 年 7 月 28 日～29 日に出島メッセで開催される第 55 回医学教育学会大会(長崎大学病院 医療教育開発センター主催)のランチョンセミナーにて、アイバンクについての講演を行う。

2 献眼者および角膜移植希望者の登録に関する事業

前述の関係機関の協力を得て、登録申込はがきやパンフレット等を配布し、献眼登録者の増加に努める。また、県内の医療機関の協力により、角膜移植希望者の登録を行う。

3 運営基盤の確立

当法人の趣旨に賛同し、協力していただける方や関係機関を広く募集し、寄附および賛助会員を募る。